

平成 26 年 11 月吉日

メディア関係者様各位

「第 2 回大阪どまんなか」開催のお知らせ

この度、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」の一環として、医師と医学生が共同で企画・運営する「大阪どまんなか」の第 2 回講演会を本年 12 月 13 日に開催することとなりましたのでお知らせ致します。

「大阪どまんなか」は、全国に広がる医学生ネットワークが中心となって企画・運営し、大学がそれをサポートする新しい試みであり、この活動を全国の皆様に知っていただく為にも、是非とも報道機関の皆様より本企画の取材を賜りたく存じます。

(イベントのコンセプト)

現在の医学部教育においては実臨床で必要とされる臨床推論・鑑別診断的側面からの教育は不十分であり、卒業後の初期臨床研修以降になって身につけていくのが実状である。また初期臨床研修においても各人の意識の違いや施設毎に異なる教育内容により、十分な診断能力が身につかずに研修を終える医師もいる。この状況を改善するには医学生の段階から鑑別診断に興味を持ち総合的に患者さんを診る視点を養う事が必要と考え、総合診療勉強会「大阪どまんなか」を立ち上げた。

これまでの総合診療勉強会の多くは意識の高い学生・医師が自主的に各地で勉強会を開催し、興味のある者が参加する形式であったが、「大阪どまんなか」は文科省プロジェクトの一環として大学が全面支援して開催する事、また全国に広がる医学生のネットワークを有している点で、他の勉強会とは一線を画すものである。

(企画内容)

講演会名：第 2 回大阪どまんなか

日時：平成 26 年 12 月 13 日(土)

場所：大阪大学医学系研究科附属 最先端医療イノベーションセンター

主催：「大阪どまんなか」企画学生、「大阪大学 未来医療研究人材養成拠点形成事業」事務局

後援：大阪大学医学部附属病院、大阪大学老年・腎臓内科学、文部科学省

講師：JCHO 教育センター長 徳田安春先生、藤田保健衛生大学救急総合内科前教授 山中克郎先生をはじめとする総合診療医の先生方 8 名

内容：参加型の講演形式（身体診察・診断学・EBM 等をテーマとした内容）

(イベントのみせどころ)

- ・受付開始前より 70 名を超える多数の参加表明があり、全国の医師・医学生の注目するイベントであった。
- ・定員 110 名にて 10 月 10 日午前 0 時より受付を開始したが、全国から参加希望者が殺到し、受付開始後 20 分にて満席に。その後キャンセル待ちとしたものの希望者が後を絶たず、50 人以上のキャンセル待ちとなったため、急遽会場内に椅子を増設することで受け入れを行った。

- ・総合診療に興味を持った意識の高い学生が全国から集結するイベントであり、この中から将来の我が国の総合診療を牽引する人材が輩出されると思われる。
- ・TV出演している有名医師に加え、今後の総合診療分野を牽引すると期待される卒後10年前後の医師が集結する

このような北は旭川、南は鹿児島からと全国から参加者が大阪に集結するという勉強会はこれまでになく、これからの医療を切り拓く若者たちの気合、パワーを世の中に広めることで、イノベーションを起こしていきたいと考えております。是非取材していただき、若者たちの熱きパワーをお茶の間にお伝えしていただければと考えております。

企画に関する詳細のお話、取材の方法に関しては、こちらから可能な限り伺いますので、面談させていただきお伝えさせていただけたらと考えております。

ご検討の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ALL JAPAN 臨床勉強会「大阪どまんなか」

代表：大阪大学医学部医学科 6年次 杉本 崇行

代表代行：京都府立医科大学医学部医学科 5年次 笹本 浩平

(連絡先)

未来医療研究人材養成拠点形成事業 事務局

大阪大学医学部附属病院 卒後教育開発センター

担当医師 小黒 亮輔

電話：06-6879-5054・5055(卒後教育開発センター)

E-mail:oguro@geriat.med.osaka-u.ac.jp